



言語接触

について調べる



★ 関連キーワード

- 接触場面
- 言語管理
- 第二言語習得
- ビジン・クレオール

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター（LS）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「言語接触」とは？

言語接触とは、異なった2つ以上の言語や言語形式(例:標準語と方言)を使用する者同士の社会的な接触によって生じる現象を指す。社会言語学の領域で扱われ、接触言語学という学問分野も存在する。接触言語学では、言語接触とそれに伴って発生する様々な現象を研究対象とする。特に言語の歴史的変化、第二言語習得、接触言語(ピジン¹など)、クレオール²、言語起源論、言語政策に関わる興味深い問題を取り上げる。関連する研究としては、接触場面研究³、言語管理研究⁴などがある。

1-2. 学習するにあたってのポイント

単に教科書や専門書を読むだけでなく、自分自身の日常生活における言語管理(場面によって表現・単語・文法などを使い分けること)を観察すると良い。母語話者と非母語話者が話す場合はもちろん、母語話者同士が話しているときにも、出身地域や社会的階級などによって使用する単語・文体などの選択が異なれば、言語の接触が起こることがある。教科書の内容と自分の経験を照らし合わせれば、学習も楽しくなり、複雑な理論も覚えやすくなるだろう。また、言語だけではなく、文化の違いも言語接触に関わってくる。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

■ 旅するニホンゴ：異言語との出会いが変えたもの / 渋谷勝己, 簡月真著

移住によって海外に持ち出され、現地に定着した日本語の変化について書かれた本。実際の会話例を通して、気軽に言語接触の事例に触れることができる。

【書誌 ID=2004307402】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 810.25/SHI

■ 外国人とのコミュニケーション / J.V.ネウストプニー著

母国から離れて暮らす外国人の日常的な悩み、異文化の中で経験するコミュニケーションのつまづきなどを言語や文化の面から考察する新書。国際化時代のコミュニケーション教育はどうあるべきかを示唆している。

【書誌 ID=2003020216】総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089/IS/215

2. 学習用資料

2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック類

■ 社会言語学の展望 / 真田信治編

第4章で言語接触を取り上げている。基礎となる研究を紹介しながら、これからの研究の手がかりとなる情報も満載である。

【書誌 ID=2003686589】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.03/SAN

¹ 複数の言語が接触する際に共通語が無い場合、一時的コミュニケーションの手段として単純化された言語

² 地域の成員の大部分の母語となったピジン

³ 言語の接触が行われている場面(外国人とのコミュニケーション、外国語教室など)についての研究

⁴ 場面によって表現・単語・文法などを使い分けることに関する研究

■ The handbook of language contact / edited by Raymond Hickey

言語接触に関する主要な論点を紹介する書籍。言語学における「接触」の概念説明から、移民の影響や方言研究まで幅広い範囲の基礎知識をカバーしている。

【書誌 ID=MC00008506】電子ブック

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ よくわかる社会言語学 / 田中春美, 田中幸子編著

言語接触について学ぶには、まず社会言語学の基本を理解する必要がある。その点、この本では、言語接触はもちろん、社会言語学のほとんどの現象の概要について、初学者でも分かるようにやさしく説明されている。各ページの注に参考文献がきちんと載っているので、気になった内容をさらに調べていくこともできる。

【書誌 ID=2004377701】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.03/TAN

■ 接触場面と日本語教育：ネウストプニーのインパクト / 宮崎里司、ヘレン・マリOTT編

言語接触の研究において必須キーワードの一つである「接触場面」(言語接触が行われるあらゆる場面)に関する日本語・英語の論文を収録している。接触場面の理論的考察、ならびに様々な方法論を応用した実証研究の色合いが強い論文が豊富。なお、サブタイトルにあるジリ・V. ネウストプニー(Jiří Václav Neustupný)は、接触場面研究を始めた言語学者の一人。

【書誌 ID=2003617475】総合図-書庫 810.7/MIY

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

■ International journal of the sociology of language

1974年から発行されている社会言語学のジャーナル。隔月刊。各巻1つのテーマに絞った研究が紹介されている。それにプラスアルファとして、危機に瀕する言語や言語マイノリティーの問題に触れる記事も掲載されている。

【書誌 ID=3001062946】総合図(1-115)、外国図(15-77, 116-最新号)

■ 社会言語科学 The Japanese Journal of Language in Society

1998年から発行されている社会言語学会の学会誌で社会言語学分野の論文が収録対象。17巻1号(2014)では「多言語社会日本の言語接触に関する実証研究」特集が組まれた。刊行後2年が経過すると、無料電子ジャーナルとして公開される。公開後は電子ジャーナルサイト(J-Stage)で論文本文まで検索が可能になるので、気になるキーワードからより多くの論文を見つけやすい。

【書誌 ID=OJ00038780】電子ジャーナル

【書誌 ID=3002102873】外国図

2-4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

■ 接触場面の言語学：母語話者・非母語話者から多言語話者へ / 村岡英裕, サウクエン・ファン, 高民定編

接触場面に関する研究成果を幅広く収録している。接触場面研究の全体像を概観しつつ、今後の展望も示しているので、研究の過去・現在・将来の把握に役立つ一冊。

【書誌 ID=2004413118】総合図-A 棟 3 階 留学生用図書 810.7/NIH/7

■ 接触言語：ピジン語とクレオール語 / マーク・セバ著；田中孝顕訳

ピジンとクレオールの概念、起源、特徴や今後の発展などを詳しく説明する専門書。

【書誌 ID=2004279914】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.03/SEB

■ 異文化接触場面のインターアクション：日本語母語話者と日本語非母語話者のインターアクション規範 / 加藤好崇著

異文化接触場面での多様な会話例を筆者が分析・考察している。また、先行研究がまとめられている章があり、理解の助けになる。接触場面の特徴と規範について詳しく知りたい方には、第 9 章をお勧めできる。

【書誌 ID=2004166680】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.03/KAT

■ 異文化接触論 / 飛田良文編

異文化接触がテーマで、第 7 章に言語接触に関係の深いバイリンガリズムが取り上げられている。バイリンガルの言語習得の経験やそれに伴う苦悩が紹介されており、バイリンガルの言語管理に興味があれば是非お勧めしたい一冊である。

【書誌 ID=2003443089】総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 810.7/NIP/1

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: 言語接触/接触言語/接触言語学/第二言語習得/言語の混淆/混種語/借用語/接触場面/言語管理/バイリンガル
- ◆ 関連キーワード: 混合言語/ピジン言語/リンガ・フランカ/コイナー言語/クレオール/クレオール化/コードスイッチング
- ◆ 補助キーワード: English/フランポネ (Franponais)/新方言/コミュニケーション方略

3-2. 二次資料類：検索サイト・書誌索引

■ 日本語研究・日本語教育文献データベース (<https://bibdb.ninjal.ac.jp/bunken/data/>)

国立国語研究所の日本語関係論文・図書のデータベースである。データは年に 4 回程度更新され、2018 年 2 月現在は約 22 万 7 千件のデータから文献を検索することができる。また、本文 PDF がその場で読める文献もあるので、とても便利。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

